

駒ヶ岳ファーム株式会社**就労継続支援B型事業所「わかば」(茅部郡森町)**

○基礎情報【経営形態：アスパラガス、大根、にんじん、キャベツ、ニンニクなどの農作業】

【従業員：6名、事業所利用者：13名(知的障がい、精神障がい、発達障がいなど)】



〈問い合わせ先〉わかば
☎ 01374-5-2140

1 農福連携に取り組んだ経緯

現在、農業指導を行っている日景氏(前社長)は、かつて営んでいた下宿に入居していた障がい者と接するうちに、障がい者であっても働きたい気持ちがあることを知り、日景氏の両親が森町で経営する農場において、栽培していたカボチャの出荷作業の手伝いとして雇用したことが始まり。

その後、経営を引き継いだが、将来、自身が引退しても農地を耕作放棄地にしないことや、この農地を利用して障がい者が農産物の生産を継続できるようにしたいと考え、5年前に就労継続支援B型事業所を立ち上げた。現在、近隣の耕作放棄地約4.8haのほか、日景氏の水田3.7ha、畑地1.7haを会社が借り受けて農作業を行うほか、収穫した農作物の加工作業等を施設内作業及び冬期間作業として用意している。

2 取組内容

- (1) 就労形態：畑作物の農作業全般、農産物加工、近隣から購入したミニトマトやキュウリの袋詰めなど
- (2) 就労期間：通年
- (3) 就労時間(休憩)/稼働日：10:00~15:00(昼休憩1時間)
/原則月~金曜日※休日は月8日(盆正月は変動)
- (4) 工賃：3~10月400円/時間、11~2月200円/時間
(能力に応じて変動あり)
- (5) 送迎：森町、函館市、北斗市、七飯町へ送迎あり
- (6) 昼食：無料(希望者へ提供)

**3 取組の特徴**

- (1) 利用者の希望や能力に合わせて、施設内作業か施設外作業を割り振り。施設外作業の主なものとして、施肥、防寒対策のトンネル掛け、収穫、管理作業など。施設内では農作物加工や袋詰め作業を行う。
- (2) アスパラガスは、3月から10月まで農作業があるため、比較的安定して工賃を確保できる。
- (3) アスパラガスの収穫について、利用者全員が鎌を使えるわけではないため、例えば二人一組で刈り取りと籠持ちなど作業分担をしている。
- (4) トマトの収穫作業用に、新たに収穫すべきトマトの見本写真を用意する予定。
- (5) 規格外品を含めて、販売できる直売所を販路として持つことで、袋詰めなど利用者の作業を創出している。

4 障がい者就労への考え方

- (1) 利用者の状況にもよるが、一般就労を目標としている。
- (2) 一般就労につなげていくことで、次の利用者が入ってくることが可能となり、そのサイクルができること、さらに障がい者の自立を後押しできると考える。近隣の福祉事業所から、利用者のステップアップ(やりがいや体力向上など)として農作業を希望する者の受け入れについて問い合わせもある。
- (3) 機械化できる作業もあるが、利用者の作業確保・工賃確保のために、敢えて手作業の工程を用意している。

5 今後の予定や将来展望

- (1) 障がい者の工賃を確保するため、新たな作業として、さつまいもや海産物の加工販売を考えている。
- (2) 自社で経営している旅館でも、施設外就労や一般就労での受け入れを検討している。
- (3) 自身の農地を耕作放棄地にしないために、障がい者の仕事として農作業を継続してできる環境を維持していきたい。
- (4) 周辺の農家も高齢化が進んでいるが、地域における障がい者の仕事確保と農地保全のため、自社がひとつのモデルになればと考えている。

